

市民防犯の底力 1

市民防犯インストラクター武田信彦

市民防犯が目指すのは、安全な環境づくり！

一般市民ができる防犯

市民防犯とは「一般市民ができる防犯」の意味です。地域における市民防犯が目指すことは…

- ①犯罪が起きにくい環境づくり
- ②助け合いの環境づくり

ここでいう環境づくりとは、人と人が緩やかにつながり合うような環境の中で、安全を生み出していく底力のことです。

その実践の形が、笑顔とあいさつを大切に「見守り」なのです。



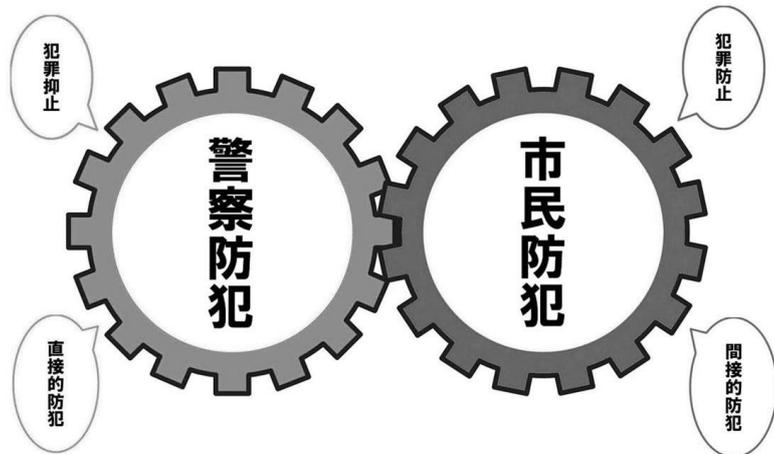
- ①犯罪が起きにくい環境づくり
- ②助け合いの環境づくり



笑顔とあいさつの見守り

治安維持のパートナー

私は、警察による防犯を「警察防犯」と呼んでいます。警察防犯の大きな役割は、犯罪や非行と直接対峙する「犯罪抑止」＝力や権限を行使する強い防犯です。一方の市民防犯は、「犯罪防止」＝犯罪が起きにくい環境づくりを目指します。犯罪や非行と直接対峙しないので間接的防犯とも呼んでいます。両者は、地域の治安維持のパートナーと位置づけられています。



地域の安全を守る協働と連携

地域の防犯は、市民防犯だけが担うものではありません。地域住民と、警察や自治体、教育委員会等の関係機関との連携・協働が欠かせません。

連携・協働の力を効果的に発揮するためには、それぞれの「得意技」＝できること、できないことを知ることが重要です。

とくに、地域住民と連携・協働・支援を行う関係機関の皆さんは、市民防犯の正しい理解が不可欠です。

